

定期調査報告書
（第一面）

建築基準法第12条第1項の規定による定期調査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は、
事実に相違ありません。

ひたちなか市長 様

年 月 日

報告者氏名
調査者氏名

【1. 所有者】

- 【イ. 氏名のフリガナ】
- 【ロ. 氏名】
- 【ハ. 郵便番号】
- 【ニ. 住所】
- 【ホ. 電話番号】

押印不要

【2. 管理者】

- 【イ. 氏名のフリガナ】
- 【ロ. 氏名】
- 【ハ. 郵便番号】
- 【ニ. 住所】
- 【ホ. 電話番号】

特定建築物調査員の場合
は、資格者証の写しを添付

【3. 調査者】

（代表となる調査者）

【イ. 資格】

() 建築士 () 登録第 号
号
特定建築物調査員

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

() 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

（その他の調査者）

【イ. 資格】

() 建築士 () 登録第 号
号
特定建築物調査員

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

() 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【4. 報告対象建

【イ. 所在地】

【ロ. 名称の

【ハ. 名称】

【ニ. 用途】

三面2欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスにチェックを入れたものの全てにおいて、「既存不適格」にチェックを入れた場合のみチェックする。

指摘事項のうち特に報告すべき事項を記載（既存不適格については記載不要）書ききれない場合は別紙添付
※「三面による」等は不可
※概要書も同様に別紙添付

【5. 調査による指摘の概要】

【イ. 指摘の内容】

■要是正の指摘あり（■既存不適格） □指摘なし

【ロ. 指摘の概要】

外壁タイル浮き、避難経路上に物品の放置、室外機落下の危険性あり

【ハ. 改善予定の有無】

■有（令和4年 5月に改善予定） □無

【ニ. その他特記事項】

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
年 月 日		
第 号		
係員氏名		

建築物及びその敷地に関する事項

【1. 敷地の位置】

【イ. 防火地域等】 防火地域 準防火地域
その他 ()

【ロ. 用途地域】 指定なし

【2. 建築物及びその敷地の概要】

【イ. 構造】 鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造
鉄骨造 その他 ()

【ロ. 階数】 地上 階 地下 階

【ハ. 敷地面積】 m²

【ニ. 建築面積】 m²

【ホ. 延べ面積】 m²

混構造の場合は、該当するものすべてにチェック
※その他 (RC+S) は不可

建物ごとの報告なので、敷地内にある付属棟などは含まない数値を記入する。

【3. 階別用途別床面積】

【イ. 階別用途別】	(階)	(用途)	(床面積)
上階から記載する	(3階)	()	(m ²)
	()	()	(m ²)
	(2階)	()	(m ²)
	()	()	(m ²)
	(1階)	()	(m ²)
	()	()	(m ²)
	(B1階)	()	(m ²)
	()	()	(m ²)
	(階)	()	(m ²)
	()	()	(m ²)
【ロ. 用途別】	()	()	(m ²)
()	()	(m ²)	
()	()	(m ²)	

【4. 性能検証法等の適用】 耐火性能検証法 防火区画検証法
区画避難安全検証法 (3階) 階避難安全検証法 (階)
全館避難安全検証法
その他 ()

【5. 増築、改築、用途変更等の経過】

年	月	日	概要	
昭和・	年	月	日	概要

前回報告以降のものを記載する。

直近の建築確認または完了検査について記載する。(ただし、報告対象と同一棟に限る)

【6. 関連図書の整備状況】

【イ. 確認に要した図書】 有 (各階平面図あり) 無
【ロ. 確認済証】 有 無
交付番号 年 月 日 第 号
交付者 建築主事等 指定確認検査機関 ()
【ハ. 完了検査に要した図書】 有 無
【ニ. 検査済証】 有 無
交付番号 年 月 日 第 号
交付者 建築主事等 指定確認検査機関 ()
【ホ. 維持保全に関する準則又は計画】 有 無
【ヘ. 前回の調査に関する書類の写し】 有 無 対象外

【7. 備考】

- ・平成26年10月に外壁全面打診実施
- ・階避難安全検証法により排煙設備設置免除

- ① 外壁全面打診等の前回実施年月を記載してください。
- ② 検証法の適用がある場合は免除事項を記載してください。

前回調査日ではなく
報告日を記入

(第三面)

調査日から3か月以
内に報告

調査等の概要

【1. 調査及び検査の状況】

- 【イ. 今回の調査】 令和 3年10月20日実施
- 【ロ. 前回の調査】 実施 (令和 元年12月10日報告) 未実施
- 【ハ. 建築設備の検査】 実施 (年 月 日報告) 未実施
- 【ニ. 昇降機等の検査】 実施 (令和 2年 5月 1日報告) 未実施
- 【ホ. 防火設備の検査】 実施 (令和 3年 5月 20日報告) 未実施

本市では、指定して
いるものがないため
未実施

【2. 調査の状況】

(敷地及び地盤)

1年以内のものを記入

- 【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格) 指摘なし
- 【ロ. 指摘の概要】
- 【ハ. 改善予定の有無】 有 (年 月に改善予定) 無

(建築物の外部)

- 【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格) 指摘なし
- 【ロ. 指摘の概要】
- 【ハ. 改善予定の有無】 有 (年 月に改善予定) 無

(屋上及び屋根)

- 【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格) 指摘なし
- 【ロ. 指摘の概要】
- 【ハ. 改善予定の有無】 有 (年 月に改善予定) 無

(建築物の内部)

- 【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格) 指摘なし
- 【ロ. 指摘の概要】
- 【ハ. 改善予定の有無】 有 (令和 4年10月に改善予定) 無

(避難施設等)

- 【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格) 指摘なし
- 【ロ. 指摘の概要】
- 【ハ. 改善予定の有無】 有 (年 月に改善予定) 無

(その他)

- 【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格) 指摘なし
- 【ロ. 指摘の概要】
- 【ハ. 改善予定の有無】 有 (年 月に改善予定) 無

(上記以外の調査項目)

- 【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格) 指摘なし
- 【ロ. 指摘の概要】
- 【ハ. 改善予定の有無】 有 (年 月に改善予定) 無

【3. 石綿を添加した建築材料の調査状況】

(該当する室)

- 【イ. 該当建築材料の有無】 有 (飛散防止措置無) (有 (飛散防止措置有) (無
- 【ロ. 措置予定の有無】 有 (年 月に改善予定) 無

新耐震基準で建てら
れたものは、すべて
対象外とする。

【4. 耐震診断及び耐震改修の調査状況】

- 【イ. 耐震診断の実施の有無】 有 無 (年 月に実施予定) 対象外
- 【ロ. 耐震改修の実施の有無】 有 無 (年 月に実施予定) 対象外

【5. 建築物等に係る不具合等の状況】

- 【イ. 不具合等】 有 無
- 【ロ. 不具合等の記録】 有 無
- 【ハ. 改善の状況】 実施済 改善予定 (年 月に改善予定) 予定なし

【6. 備考】

〈記入例〉
 前回調査時以前に不具合等を把握し、現在に至るまで不具合等であるもの
 ・外壁に設置された照明取付部の発錆・腐食による照明器具落下のおそれ
 (平成26年10月～)

不具合等とは、前回調査時以降に把握したもので、屋根ふき材、内装材、外装材等及び広告塔、装飾塔その他建築物の屋外に取り付けられたもの脱落、バルコニー、屋上等の手すりその他建築物の部分の脱落等が該当します。

※前回調査時以前に不具合等を把握し、現在に至るまで不具合等であるものは、直下の【6. 備考】欄に記載願います。

※いずれの項目にも当てはまらないもので、特記すべきものについては、調査結果表の特記事項欄に任意に番号をふって記載願います。

建築物等に係る不具合等の状況 **〈記入例〉**

不具合等を把握した年月	不具合等の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等
令和3年10月	内装タイル材の剥落	経年によるもの	令和3年12月	既存タイルを撤去し再施工